



2023年8月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ケ イ ブ
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 秋 田 英 好
(コード番号：3760、東証スタンダード)
問 合 せ 先 代表取締役 CFO 伊 藤 裕 章
(T E L . 0 3 - 6 8 2 0 - 8 1 7 6)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2023年8月31日付で関東財務局に提出をいたしました2023年5月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨の記載をいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、監査法人より指摘を受けた事項は全て連結財務諸表等に反映しており、連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見は、無限定適正意見であります。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社グループは当事業年度において新たに重要な連結子会社を有するに至り、グループとしての開示体制の早急な強化に取り組んでまいりました。当事業年度末の決算を進める監査手続きの過程で連結仕訳及び開示項目に関して重要な指摘を受ける事象が生じました。協議の結果、当社グループの体制は信頼性のある財務報告の作成・チェックを遂行するに必要な経理人員リソースが十分ではなく、当社の決算財務報告プロセスに係る内部統制において、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 当該事業年度末までに是正できなかった理由

当事業年度の末日までに当該内部統制の不備が是正されなかった理由は、当該重要な不備の判明が当事業年度末日後になったためです。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社グループは、財務報告に係る内部統制の整備を行い、本件不備を是正するとともにその維持・強化をするべく、取締役CFOに代表権を付し早急な対応を可能にした上で、経理人員の採用、評価の指標作成、教育制度その他外部専門家の活用等を適切に組み合わせて対応してまいります。また、監査等委員会からの客観的な報告・提言を受けることを予定しており、当該報告・提言も踏まえて不備がなく効果的で効率的な内部統制の構築と運用を確実に進めてまいります。

4. 連結財務諸表及び財務諸表に与える影響

監査法人より指摘を受けた事項は全て連結財務諸表等に反映しており、これによる財務諸表監査に及ぼす影響はございません。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見
無限定適正意見であります。

以上